

## 「あわじでたまねぎづくし! ダッチオープン料理に挑戦!!」

- 1 趣 旨：親子で様々な体験活動にチャレンジする機会を提供し、親子の絆を深める。保護者には、子育てについて考える場を提供するとともに、ゆるやかなネットワークの構築を図る。
- 2 日 時：平成28年5月7日(土) 13:00  
～8日(日) 12:00
- 3 場 所：国立淡路青少年交流の家
- 4 対 象：子どもとその保護者 15組、50名程度
- 5 参加者：19家族66名(保護者30名、子ども36名)
- 6 プログラムの内容：



### 1日目

#### 13:00～ 始まりの会

はじめて会う方も多く、どこから来たのか、2日間で楽しみにしていることは何かをそれぞれの家族に自己紹介をしてもらってから、早速玉ねぎを収穫する畑に向かった。



#### 13:30～ 玉ねぎの収穫にちゃれんじ

玉ねぎ農家の阿部雅一さんに「一番おいしい品種の玉ねぎです。がんばってここにある玉ねぎを全部収穫してくださいね」と声をかけていただき、ひと畝分の玉ねぎをみんなで協力して収穫した。一生懸命玉ねぎをひく子どもたちの姿に、保護者の方は笑顔で声をかけていた。その場でとりたての玉ねぎも味わい、思わぬ玉ねぎの甘さに大人も子どももばくばくと食べていた。



#### 15:00～ ダッチオープン料理にちゃれんじ

今回はダッチオープンを使って、肉料理、キッシュ、オニオンスープ作りに挑戦した。子どもたちも慣れない手つきで、大人といっしょに悪戦苦闘してがんばっていた。それぞれの家族が自然とコミュニケーションをとりながら交流できていた。甘くなった玉ねぎを、みんなで「おいしいね」と言いながら喜んで食べていた。



## 20:00～ 絵本の読み聞かせ

絵本専門士の立石有礎さんの「さあ、絵本を読むよ！」という掛け声で、子どもたちは絵本の前に陣どった。読んでくれた絵本がどれもおもしろく、みんな絵本にかぶりついて聞いていた。

後半は保護者の方へ、絵本を読むことの大切さ、絵本の裏に隠された作者のねらい等、絵本を読むことの効果などをお話しいただいた。



## 2日目

### 9:00～ 玉ねぎの皮染めにちゃれんじ

玉ねぎの皮染めに挑戦した。染めたいものに思い思いにビー玉や輪ゴムで模様をつくり、玉ねぎの皮や鉄さびの媒染液で染めた。輪ゴムを外してみても、でてきた模様を見て「わあ！きれい」という声があがった。きれいな黄色やカーキ色に染まったTシャツやハンカチ、トートバックがきれいに晴れ渡った空に映えていた。



### 10:30～ 親子別プログラム

#### (子ども：砂の造形、保護者：カフェタイム)

子どもたちは吹上浜に移動し、浜辺の散策と砂の造形づくりに挑戦した。ボランティアのお兄さんとお姉さんといっしょに浜辺で砂遊びと海遊びを思い切り楽しんだ。

保護者のみなさんは、桜の花茶をいただきながら歓談し、ゆったりとした時間を過ごした。



## 7 参加者の声

- 絵本タイムがとてもよかったです。
- 親子で様々な体験ができました。とても楽しかったです！
- ボランティアの方が子どもとたくさん遊んでくださいました。
- 今回のような普段の生活ではできないクッキングなどをまたしてもらえると嬉しいです。
- 海が近いので、海のプログラム、水遊び、貝、海草などを使った工作をしたいです。

## 8. 所感

- キャンセル待ちが多く出た。このような親子で体験するプログラムのニーズの高さを感じた。また、タッチオープンに魅かれてきたという家族も多かった。
- 絵本の読み聞かせがよかったという声が多かった。小学生の高学年の子どもも絵本を夢中になって聞いている姿もあり、改めて絵本の持つ力や、絵本の魅力を伝えることができる絵本専門士という存在の重要性を感じた。今後も絵本専門士と連携し、絵本の読み聞かせの機会を創っていきたい。
- 淡路島といえば玉ねぎと言われるほどありふれたものをテーマにしたが、玉ねぎづくしでのプログラムが非常に好評であった。今後も地域の魅力をプログラム化して、提供していきたい。

### 今後の「親子ちゃれんじ」の予定

- ② 9.18～19 自然体験、③ 10.15～16 沼島探検、④ 12.17～18 文化体験、⑤ 3.19～20 企画中